

指導例4

【本時の言語活動】

例)

アメリカ旅行の最終日です。あなたは帰りの飛行機に乗るため、ニューヨークの空港にいます。空港内でのアナウンスを聞き取り、成田空港行きの飛行機に乗りましょう。



※高校2年生の英語コミュニケーションⅡの授業を想定しています。

指導例4

【領域】

聞くこと

【対象校種】

中学校、高等学校

【使用ツール】

Google フォーム 

フラッシュカード作成アプリ

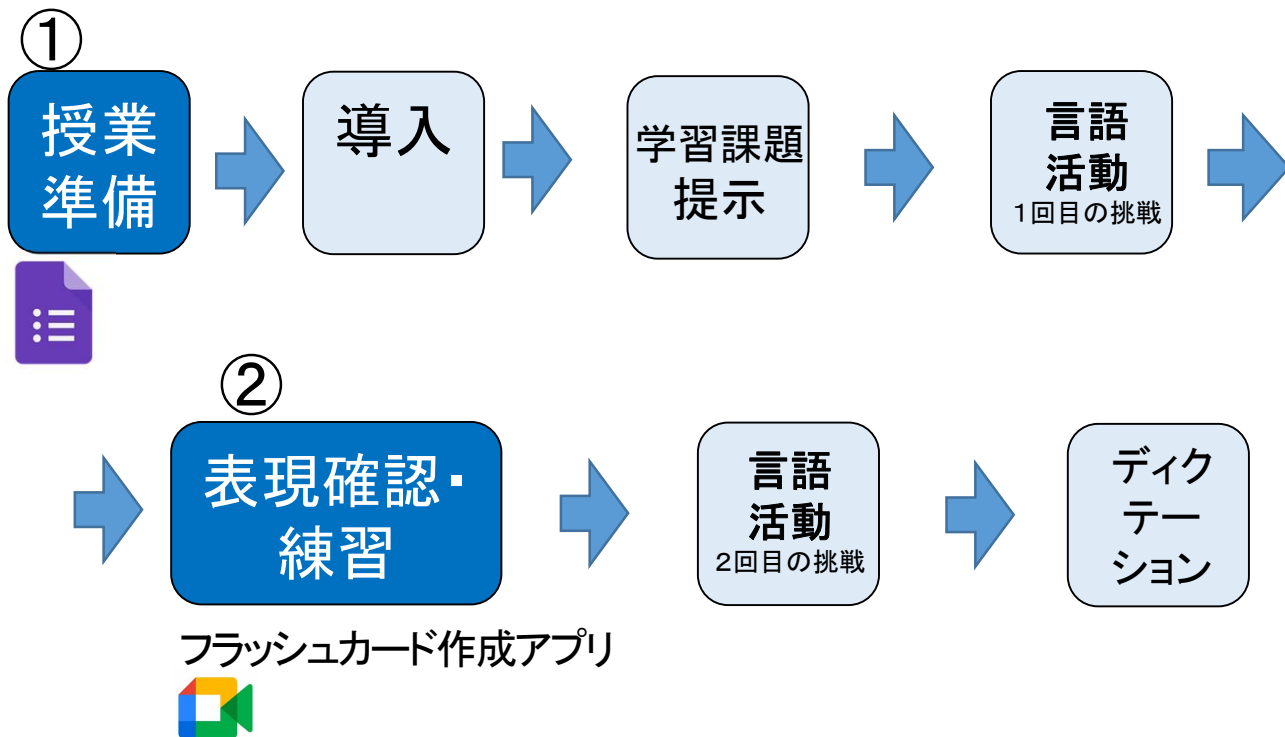
Google Meet 

【ICT活用の目的】

- 個人の理解度に合わせて繰り返し音声を聞くことで、英文に対する理解を深める。
- 汎用性の高い語句・表現を身に付け、聞き取りの正確性を高める。

授業準備と指導過程

下の流れの①と②でICTを活用します。本時の言語活動を2回繰り返しますが、その途中で重要表現の確認と練習をすることで、より多くの内容を正確に聞き取ることができるようにします。



①授業準備

音声データを準備し、Google ドライブに保存する

生徒に聞き取りをさせたい課題文を教材CD等から選ぶか、録音や音声作成サイト(詳細は指導例2参照)を利用して音声データを作成し、Googleドライブに保存します。リンクにアクセスした生徒が音声を聞くことができるようにするために、共有設定を変更します。



共有設定を「制限つき」から「リンクを知っている全員」または「自分の所属」にする

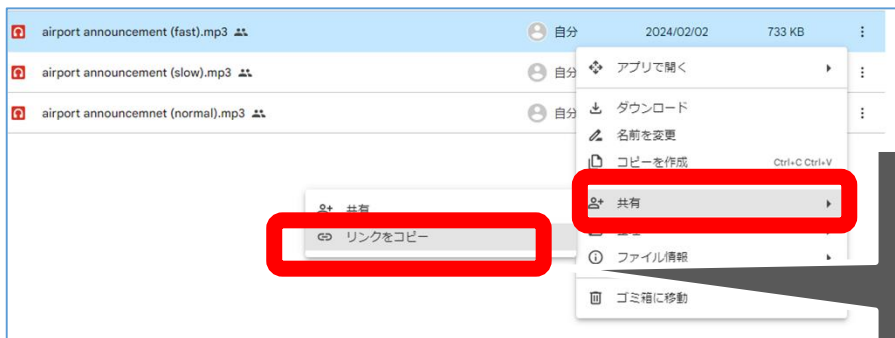


①授業準備



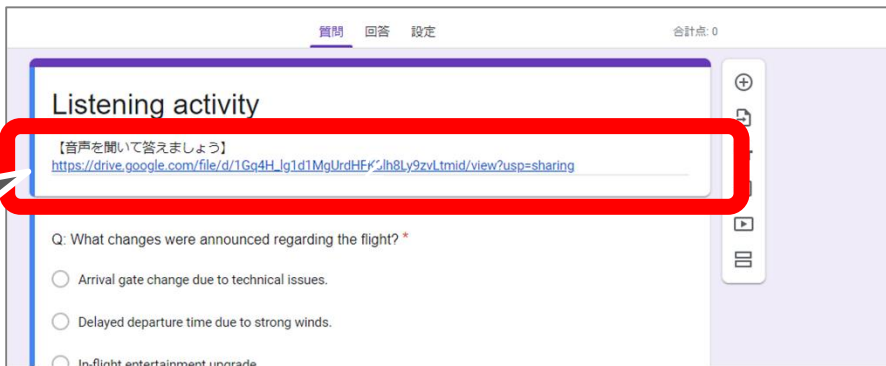
Google フォームで音声リンク付き内容理解問題を作成

Google フォームに音声データのリンクを貼り付けて作成することで、生徒は各自で音声にアクセスできるようになります。一人一人の理解度に合わせて聞き直しながら内容理解問題に挑戦することができます。



Google ドライブの音声データ→共有→
リンクをコピー

コピーしたリンクを
Googleフォームに貼る



① 授業準備



Google フォームでディクテーション用の問題を作成

同様に音声のリンクを貼り付けることで、ディクテーション用の問題を作成することができます。下の設定をすることで、正解するまで何度でも取り組めるようになります。

② 「記述式」を選択

① リンク貼り付け

③ 記述式の回答の条件として、「正規表現」「一致する」を選択。

The screenshot shows the 'Dictation' settings in Google Forms. The title is 'Dictation' with a subtitle 'フォームの説明'. The main instruction reads: '音声を聞いて、空欄に入る英語を聞き取りましょう。(解答欄には全文を入力してください。)'.

Three red callouts highlight specific settings:

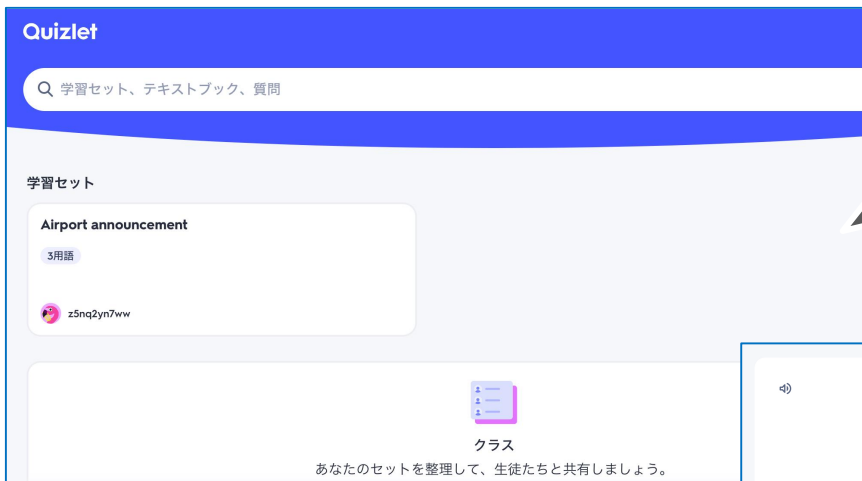
- Callout 1:** Points to a URL pasted into the question text: https://drive.google.com/file/d/1-LGLra1WhcA-jHfbk0g-GooMGxZQ2PZV/view?usp=drive_link.
- Callout 2:** Points to the '記述式' (Short answer) option selected in the question type dropdown menu.
- Callout 3:** Points to the '正規表現' (Regular expression) and '一致する' (Match exactly) options selected in the '記述式テキスト (短文回答)' (Short answer text) dropdown menu.

Other visible elements include a 'カスタムエラー テキスト' (Custom error text) field with a close button (X).

②表現確認・練習

フラッシュカードを作成して表現を覚えやすくする

フラッシュカードをアプリで作成しておけば、語句や表現の導入から練習までをスムーズに行うことができます。「ランダム表示」、「日本語→英語」、「英語→日本語」など、表示の仕方が変更できたり、画像の挿入ができたりますものもあります。今回はQuizletというアプリを紹介します。



例：Quizlet
生徒の登録なしでも
単語リスト等を
共有可能

クリックすると日本語
と英語が切り替わる

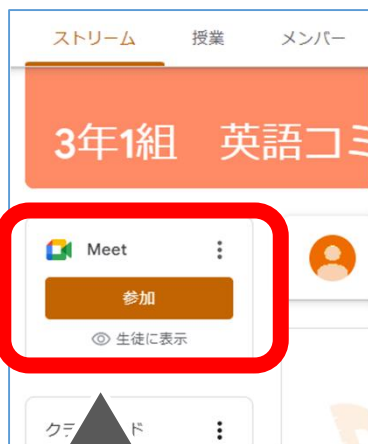
passenger

②表現確認・練習

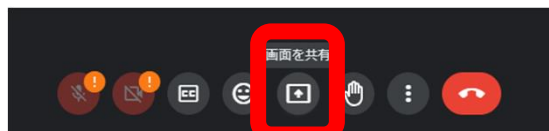


画面共有で全員が見やすく表現練習

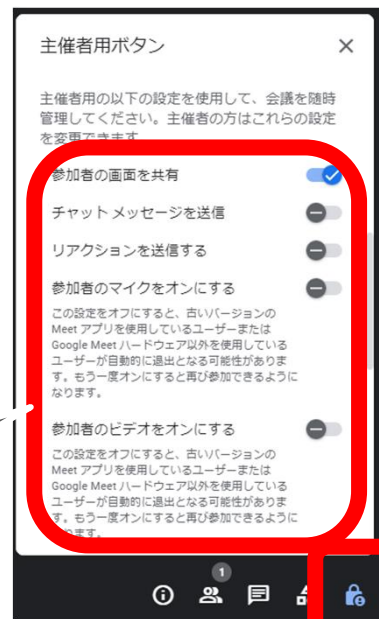
フラッシュカード等で語句や表現の練習をする時に、教室前方のスクリーンだけでは見えにくい場合があります。Google ClassroomからGoogle Meetに接続し、画面共有することで、全生徒の手元に教師側の画面を共有しながら授業を進めることができます。



①教師も生徒も
Google classroomから
Google Meetを開始



②画面下の共有ボタン
で教師の画面を共有



③主催者用ボタンから
生徒の機能を制限
することも可能

主催者用ボタン